



ミシガン州立大学 農学・自然資源学部



College of Agriculture and Natural Resources,
Michigan State University

●学部学生 約39,000人 ●大学院生 約11,000人 ●教職員 約12,000人

ホームページ <http://www.msu.edu/>

交流協定締結年月日：1999年3月22日 主管学部：農学部



大学シンボルの時計台



短期留学先研究室のメンバー



全米屈指の植物研究施設

国際交流の特色

1855年に農学関連分野を中心に、全米初のResearch-Intensive Land-Grant Universityの一つとして創立された。ミシガン州イーストラッシング市（人口約5万人、デトロイト・シカゴから空路約1時間）に21km²のキャンパスを持っている。農学および自然科学部、獣医学部、経済・経営学部、工学部、医学部等の合計17の学部（College）からなり、130カ国から留学生を受け入れている。



大学のマスコットのスパルタン



本学卒業生が日本学術振興会・海外特別研究員として派遣



2万人収容のバスケットスタジアム
8万人収容のフットボールスタジアム・バスケットはNCAA全米チャンピオンに輝く

教員からの声

自然科学の植物研究分野における屈指の名門校として、幅広い研究領域を網羅する大学です。本学部の学生・研究者が、ミシガン州立大学の学生・研究者と接する機会が増えることにより、相互の専門研究の発展、および専門教育の充実に大きく貢献すると思います。植物病理学分野の日米科学会議の第11回が香川大学で開催され、ミシガン州立大学も主催者メンバーとして第12回は米国で開催されます。ミシガン州立大学は大学スポーツも盛んで、バスケットボールチームはNCAA全米トーナメントで上位ランクされる実績を残し、アメリカンフットボール、アイスホッケーでも全米有数の大学です。イーストラッシング市は大学を中心とした街で治安も良く、自然も多く過ごしやすいキャンパスです。

農学部教授 秋光 和也

学生からの声

2005年から2007年までミシガン州立大学植物研究所で海外特別研究員として研究していました。キャンパスは緑豊で、治安もよく生活する上での不安はほとんどありませんでした。留学生に対する支援体制も充実しているので、ストレスを感じることなく研究することができました。また、研究環境が整っているので、実験や結果の考察に多くの時間を費やすことができ、新たな発見もすることができました。分野やテーマの異なる他の研究室、他大学との交流も盛んで、新たな交友関係を築いたり、最新の研究情報を得ることも可能でした。セミナーなども頻繁に行われており、研究活動に専念することができました。

平成15年博士課程卒業 大谷 耕平